

## 初めての餅つきに挑戦 —内原小・餅つき—

12月13日(火)、内原小学校(山口謙校長)において、保護者や高家区長をはじめとした地域の方々の協力のもと、餅つきが実施され、5年生児童47人が挑戦しました。

餅つきでは、昔ながらの杵と臼を使用。児童らは順番に杵を持ち、慣れない手つきで振り下ろしていました。また並行して餅つき機も使用し、それぞれで出来上がったお餅を、手で丸めてテーブルの上に並べていきました。

この日使用したもち米は酒井精氏(高家)の水田を借り、児童らが田植えと稲刈りをして収穫したものです。

参加した児童らは初めて持つ杵の重さに苦労しながらも、美味しそうに出来たお餅に大満足。

家に持ち帰り、家族と食べるのを楽しみにしていました。



## お米は美味しいね！ —志賀小・調理実習—

12月15日(木)、志賀小学校(保田勉校長)において、5年生児童27人が調理実習を行いました。

この日が初めての調理実習となる児童らは、自分たちで田植えから刈り入れまで行ったお米を炊き、付け合わせのお味噌汁づくりに挑戦。

慣れない包丁やお米の水加減に気を遣いながら、楽しんで料理に取り組んでいました。

ご飯とお味噌汁が出来た後は、みんなで食事の時間。

家から持ってきたふりかけや梅干しで、炊きたてのお米を美味しいと頬張っていました。

**みなさんで食べてください  
ー比井小・お米寄付活動ー**

12月13日(火)、比井小学校(玉置雅巳校長)の児童らが、ふれあいセンターに自分たちで作ったお米30kgを寄付しました。

この日は比井小学校から関慶吾くん(6年・児童会長)、櫻井孝くん(5年)、狩野大希くん(5年)が先生と共にふれあいセンターを訪問。

「僕たちが作ったお米です。利用者のみなさんで食べてください」と、比井小学校で集めた赤い羽根募金のお金と一緒にお米を寄付すると、寺井陽子会長から「一年間頑張ってつくったお米をありがとう」と感謝の言葉が贈られました。



**走れ！きいちゃんバス  
ー内原保・送迎バス初運行ー**

1月4日(水)、内原保育所の新しくなった送迎バスが、初運行しました。

新しいバスは、きいちゃんがラッピングされ、園児たちも可愛いバスに大喜び。役場を出発して町内を走り、みんなを保育所に送り届けました。



**お客さんで大賑わい  
ー軽トラ市ー**

12月11日(日)産湯海水浴場駐車場において軽トラ市が開催され、多くのお客さんで賑わいました。

当日は町内外から21台の軽トラが出店し、野菜や果物といった農産物や、干物やお寿司などの海産物、黒竹民芸品など幅広い名産品を販売。お客さんとの活気に満ちたやりとりが繰り返られ、会場は熱気に包まれていました。

